

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月26日	作成者名	後藤 英明	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	市民生活部・防犯くらし交通課
分野	08 公共交通	関係課	
施策	65 駅周辺自転車対策		
施策の目的	駅周辺の歩道や広場などにおける放置自転車を解消するとともに、自転車利用者への交通安全に対する意識を高め、誰もが安全で快適に通行できる環境を整えます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	自転車駐車場管理事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
放置自転車撤去台数	警告・撤去により放置自転車を減少させる	台	1,485	1,650	1,533	1,617	1,362	1,241	
その他施策の取組事項に係る成果	令和元年度の駐輪場定期利用の年間平均登録台数は7,858台、駐輪場一時利用月平均台数は62,911台でした。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	駅周辺自転車対策としては、自転車駐車場の利便性の向上や自転車利用者のモラル意識の向上が求められている。自転車駐車場については工夫した運営を実施しているものの、更に利便性向上を図っていく必要がある。自転車利用者のモラル意識の向上については、放置自転車への警告及び撤去により、放置数が減少しているが、引き続き実施していくことが必要と考える。	対応策	自転車駐車場の利便性向上については、指定管理者と協議しながら、実施していく。 自転車利用者のモラル意識の向上については、駅周辺放置自転車への指導・警告を重点的に行うと共に、自転車利用者のマナー向上のため、駐輪場のポスター掲示やHP等により啓発を行っていく。
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	自転車駐車場定期利用者の安定確保と一時利用の増加もあり、放置自転車の撤去台数の減少や、警告台数についてもH30年度の3,049台から2,036台と大幅に減少していることから、駅周辺自転車対策としては、予定通り進んでいると考えられる。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	自転車駐車場の運営は、指定管理者によるが、協議を進めながら、効率的な運営と更なる利便性の向上に努めていく。放置自転車対策については、引き続き駅前において夜間や土曜・日曜の警告・撤去を実施し、自転車利用者のマナー向上を図っていく。これらを、人員・予算とも維持しながら実施していく。
→		

(評価者コメント)

自転車駐車場については、今後とも市民ニーズを踏まえながら、指定管理者による効率的な業務運営と柔軟なサービス展開により、利便性の向上を図ることが必要である。放置自転車対策については、これまでの警告・撤去により、市民に意識が浸透しつつあると考えるが、今後も引き続き自転車利用者のマナー向上を図ることが必要である。
--

